

四會計報告(福岡)

本年度に於ける會費納入成績は、昨年比しほぼ同程度なる三割強の未納状態である。然し乍ら未會有の不況時と闘ひつゝこの成績を示すは必ずしも不成績とは云ひ得ない然し今後一層の努力によつて出來得る限り速に改善せらるべきである。

支出金額中高額を示すは、總同盟費を除いて人件費であるが、不況に伴ふて従來組合負擔の分に對し漸次補助をなすの必要にせられ、月額三百三十拾圓を要することとなつた。爭議費は各組合の經濟的實力強化に伴ひ比較的少額を以て足るゝに到つた。基本金には一千四百八十四圓を積立てたが、この内には元加利子五百四十四圓九十一錢を含む。有給役員數次の如し(組合有給役員を除く)

- 七〇圓 二名 六五圓 一名 四〇圓 一名
- 三五圓 一名 三〇圓 一名 二〇圓 一名
- 計 三三〇圓 七名

切手制度を採用して居る組合は、東京鐵工組合、神奈川合同労働組合の二組合に止まるのは甚だ遺憾とするところである。

ろである。

右の外、中央合同労働組合は、十月より實施する準備を進めて居るが、各組合共速やかに之に追隨せんことを望む。尚、各加盟組合の會計状態は、大體に於いて充實の二路を辿りつゝあるを認める。收、支の健實化、基金の漸増の傾向を示せることは頗る愉快に堪へないところである。

決算報告(昭和四年九月一日)

一、通常會計

收入總計 金貳萬七千四百六拾四圓參拾八錢也
 支出總計 金貳萬七千八百八拾四圓九拾九錢也
 差引殘金 金貳百七拾九圓參拾九錢也
 前年度殘高 金四千〇四拾九圓七拾五錢也
 再差引次年度殘高金四千參百貳拾九圓拾四錢也

内 譯

臨時費 二五・〇〇
 謝禮及手當 三四七・八八 二八・九九
 薪炭雜費 三八・六四 三・三二
 基本金 一、四八四・九一 一一三・七四
 合計 二七、一八四・九九 二、二六五・四一

一、基本金會計

前年度殘高 金九千六百四拾七圓參拾六錢也
 本年度積高 金九百四拾圓也
 元加利子 金五百四拾四圓九拾壹錢也
 合計現在高金 壹萬壹千五百參拾貳圓貳拾七錢也
 右之通り相違無之候也

昭和五年八月卅一日
 會計 福岡金次郎
 會長 松岡駒吉
 副會長 小原源一
 同 大越半忠
 同 堀川庄次郎

收入之部

會費 二五、八四五・二九 一ヶ月平均額 二、一五三・七七
 入會金 八五九・三〇 七一・六〇
 寄附金 一〇・〇〇 一・六六
 預金利子 六三三・六九 五・九七
 雜收入 一一六・二〇 九・六五
 合計 二七、四六四・三八 二、二八八・六九

支出之部

總同盟費 一五四・一三五二 一、二八四・四六
 徽章製作費 四〇七・五〇 三三・九六
 人件費 三、六一〇・〇〇 三〇〇・八三
 會議費 三、二八・一〇 二七・三四
 交通費 二七七・五三 二二・一三
 通信及發送費 三二五・〇一 二七・〇八
 文具及消耗品 四六・四三 三・八七
 小物印刷物 一四三・〇〇 一・九二
 備品費 一九九・七五 一六・六五
 擴張宣傳費 八二三・五九 六八・六一
 爭議費 三、一四〇・〇〇 二六・六六
 補助費 五二七・二〇 四三・九三
 諸税金 四六・九三 三・九一